

土地利用とポイ捨てゴミの分布の関係 Relationship between land use and the distribution of garbage littering

飯島智史(博士前期課程地球科学専攻)

IJIMA Satoshi (Master's Program in Geosciences)

1. **目的:** 本調査では茨城県つくば市を対象として、土地利用とポイ捨てゴミの分布パターンを考察する。また、GISを用いて密度分析を行い、ポイ捨てゴミが集積しやすい土地利用を明らかにすることを目的とする。
2. **対象地域:** 調査範囲は駅周辺の商業集積地区を中心として、吾妻1~3丁目、天久保1丁目、東新井、竹園1・2丁目を対象とした。
3. **手法:** ゴミがどういった場所に集積しているか、落ちているゴミの種類はどういったものか、といった事をGPSとフィールドノートを用いて記録した。なお図のベースマップはゼンリンのZMAPを利用した。調査は

11月28日(土)と11月29日(日)に行った。

4. **結果・考察:** 図1はつくば市におけるポイ捨てゴミの分布を、図2はポイ捨てゴミの密度を示している。ポイ捨てゴミは商業・業務地といった、人の多く集まる場所や交通量の多い道路に密集する傾向が見受けられる。つくば駅周辺や公園にゴミが落ちていないのは、清掃業者が頻繁に清掃を行っている為である。また、駐車場や荒地、水路や建物と建物の隙間など、人の目の死角となる場所にゴミが多く捨てられていたので、これらはゴミを集積する因子と考える事ができる。この因子が集中する土地利用になると、ゴミの集積量もこれに比例して多くなる傾向がある。

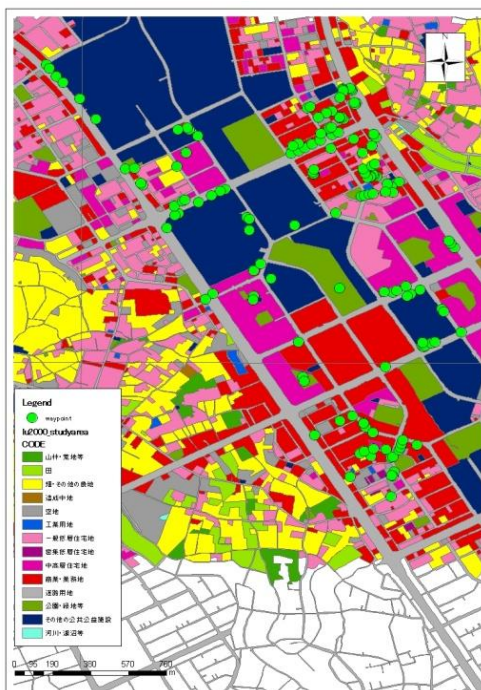


図1: つくば市におけるポイ捨てゴミの分布
(ZMAP および現地調査より作成)

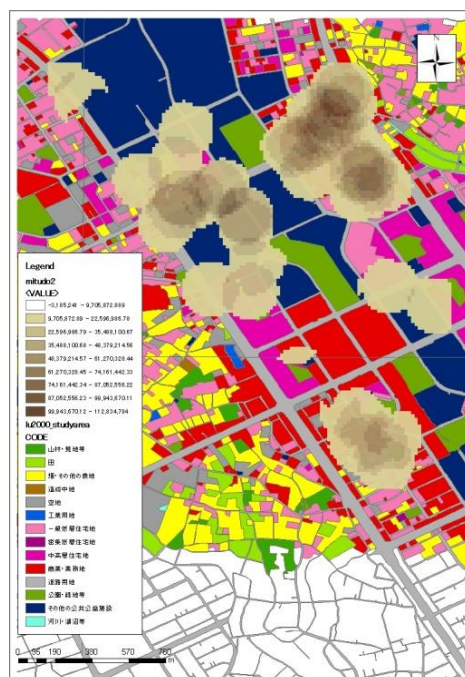


図2: つくば市におけるポイ捨てゴミの密度
(ZMAP および現地調査より作成)